

ご挨拶

今回は授業で取り組まれているスケジュールとコミュニケーションの実際について具体例を交えてお知らせいたします。

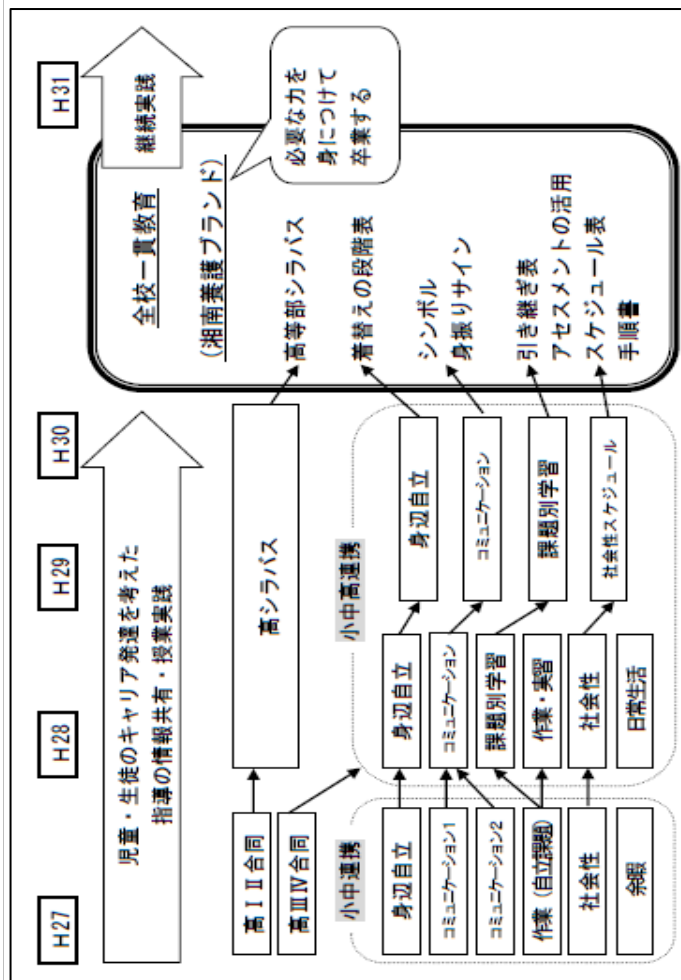
例えば、言葉を話すことができなくても、感じる力や伝えたい力は持っています。わかってもらいたいと思っても伝わらないもどかしさに光を当て、本校の教育目標であるところの

『自分を表現する力やコミュニケーション能力を育てる』

『自立と社会参加に向けた基本的な知識と技能・意欲を育てる』

の観点でお読みください。

私たちは、児童生徒の1人ひとりが社会に出ても実した生活が送れるようにコミュニケーションスキルが引き継がれていくことを願っています。



湘南養護学校 研究の流れ
令和元年度は新学習指導要領に基づいて『主体的に学ぶ』『対話的に学ぶ』ためにはどのような授業を行えばよいのかについて話し合いをしています。

令和元年 10 月

学校へ行く週間

県立 湘南養護学校

紹介号



小中高全学部が一貫性を持った縦のつながりを意識し、『卒業までに身につけさせたい力』を共通認識するために『全校一貫教育（湘南養護ブランド）』を見出すことを目指して平成 27 年度から研究に取り組みました。実践と検討を繰り返しながら確立してきた（湘南養護ブランド）の一部をご紹介します。

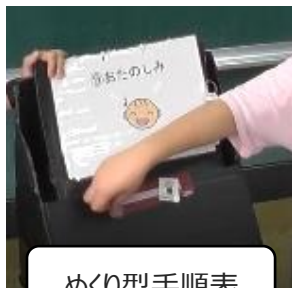
目次

- ご挨拶
- 小学部の取り組み
- 中学部の取り組む
- 高等部の取り組み
- 研究の流れ

本校ではコミュニケーション指導の一つとして小1から身振りサインやカードに取り組んでいます。最初は先生に報告をしたり、許可を求める練習から始めますが、少しずつともだちのやり取りに広がっています。今回は朝の会や帰りの会で児童生徒同士のやり取りをご紹介します。全学部が同じ視点で学習支援することで混乱少なく学習の積み上げが行えています。

小学部(朝の会・お楽しみコーナーのやりとり)

成長につれ、先生と一緒に手順表を手掛かりに進行します。例えば先生が出席確認の呼名をすると日直さんが出席カード(顔写真)を友だちに手渡しに行ったり係に仕事を頼んだりします。



めくり型手順表



とあるクラスの一コマ:お楽しみコーナーでは順番にバランスボールを楽しんでいます。
日直:「次はきみの番だよ。どうぞ!」
「OK ぼくの番なんだね。」

低学年の頃は『順番に』を学習するために顔写真を縦に並べて提示し、自分の番がいつ来るのかを学習します。高学年になるとそれが定着して上手に待てるようになります。



中学部(帰りの会・一日の出来事のがんばり発表)

カードで文を作った後、身振りで「楽しかったです」と発表しています。



手持ちの絵カード、文字カードで文を作ります。

言葉を書き足して発表する人もいます。



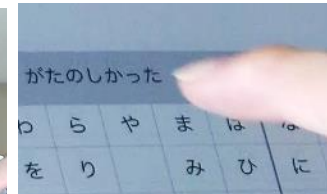
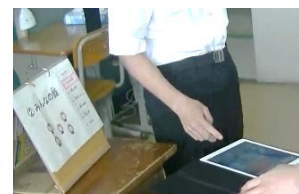
カードを使うと文作りのハードルが下がります。帰りの会で取り組むため、毎日文づくりの学習ができます。最初は単語から、次は2語文と学習が積みあがるにつれて伝える内容が豊かになり、『伝わる喜び』がより一層コミュニケーション力を高めていきます。生徒によっては助詞の活用にまで進んでいます。

高等部 (朝の会、帰りの会での IT ツールの活用)

司会進行時にタブレットを活用している生徒もいます。音声は機械が代替します。



今日の予定〇〇さんお願いします



みんなの発表コーナー(1日を振り返っています)
日直:「次は太郎さんです。お願いします。」
太郎さん:「今日は職業が楽しかったです。」



絵を組み合わせて文を作るアプリで一日の発表をする人もいます。このアプリで伝わる場面が増え、嬉しそうな表情が増えました

参観者の方からは、『最初どのようにコミュニケーションをとったらよいかかわらず、戸惑ったけれど、先生たちのコミュニケーションの取り方を真似してみることで少しずつ取れるようになりました。』と感想をいただきました。私たちは地域や卒業後に出会うみなさまへ湘南養護の取り組みをバトンリレーして、児童生徒たちのより豊かな生活を支えていきたいと考えています。